

ジャヤワルダナ元スリランカ大統領顕彰碑

石碑の正面には、日本語、パーリ語と英語で古代の経典「法句経」から引用された韻文「恨みは恨みではなく、愛によって静まる。」が彫られています。

石碑の背面には、スリランカ民主社会主義共和国のジュニアス・リチャード・ジャヤワルデネ前大統領への感謝と謝恩の下に、この石碑が建造されたと述べられています。1951年9月、サンフランシスコ平和会議にて彼は、彼の日本と日本人への深い理解と憐みに基づいた愛を示しました。彼は、集まった国家に対して愛と優しさと共に日本から撤退するように要求し、スリランカ国（当時セイロン）を代表して日本に対して賠償請求を放棄することを宣言しました。彼はアジア地域の将来の構築において本当に独立し、解放された日本の果たすべき役割を強調しました。日本国民は当時彼の言葉に大変勇気付けられ、これが40年後に目撃する平和で繁栄した国家の発展に繋がっていくのです。21世紀の日本の若者によって導かれた慈悲と共生の理想を私たちは待ち望んでいます。（1991年8月28日記す）